

## 国際学部が求める教員像と教員組織の編成方針

### 【国際学部国際コミュニケーション学科が求める教員像】

#### 1. 能力

- ① 国際学部国際コミュニケーション学科の三つのポリシー及び同学科の気風を十分に理解したうえ、研究・教育・学部運営に専念し、研究成果を生かした教育を行う能力。
- ② 教育方法を琢磨し、学生の学力に適した教授法を形成できる能力。
- ③ 自らの人間性を豊かにし、学生と信頼関係を構築し、責任のある指導を行い、学生を成長させる能力。
- ④ 協働関係を重視し、組織的な行動をとることができる能力。
- ⑤ 教育を通じて学生のキャリア形成を支援し、進路についての助言ができる能力。

#### 2. 姿勢

- ① 担当学生と近い距離で親身になって一人一人の能力を最大限伸ばすよう努力する姿勢。
- ② FD・SD 活動に積極的に参加し、教育職員・事務職員と連携して国際学部国際コミュニケーション学科の教育を最善にする姿勢。
- ③ 自らの専門分野・専門領域において真摯に学術研究に努める姿勢。
- ④ 法令及び教育倫理を遵守し、あらゆる差別やハラスメントを許さない姿勢。

### 【教員組織の編成方針】

- ① 大学の教員組織編成方針に基づいて国際学部国際コミュニケーション学科の教育目標や三つのポリシーを実現するために十分な教員組織を整備し、円滑に教育を展開する。
- ② 国際学部国際コミュニケーション学科 FD・SD 委員会を中心にして教員の資質の向上を図り授業改善に組織的に取り組む。
- ③ 教員の募集、採用、昇任等については、国際学部国際コミュニケーション学科教員選考手続規程、運用内規等に従い、公平性・透明性を確保した教員人事を行う。
- ④ 国際関係、国際文化、心理学、メディア及び外国語の各分野のバランスを考え、教員配置を行う。また本学科の性格上、文化的多様性にも配慮する。

## 【国際学部国際観光学科が求める教員像】

### 1. 能力

- ① 常に研究と修養に努めることで国際観光学に関わる自らの分野・領域における専門性の向上を図り、その成果を教育者として学生に教授することのできる能力
- ② 学生と信頼関係を構築し、一人一人の能力を伸ばすことのできる能力
- ③ 国際学部国際観光学科の一員として、組織的な行動を行なえる能力
- ④ 教育を通じて学生のキャリア形成を支援し、進路についての助言ができる能力

### 2. 姿勢

- ① 阪南大学の建学の精神、ミッションステートメントを理解し、学生一人一人の能力を最大限伸ばすよう努力する姿勢
- ② 国際学部国際観光学科の三つの方針を理解し、これを前提とした特色ある教育の実現に努める姿勢
- ③ FD 活動に積極的に参加し、自らの教育能力の向上に努める姿勢
- ④ 国際観光学に関わる自らの専門分野・専門領域において真摯に学術研究に努める姿勢
- ⑤ コンプライアンスを徹底するとともに、あらゆる差別やハラスメントを許さない姿勢

## 【教員組織の編成方針】

国際学部国際観光学科の教員組織編成の基本方針は次のとおりとする。

- ② 観光文化・観光計画・観光事業の3つの教育研究領域について、バランス良く教員を配置する。
- ② 国際学部国際観光学科に学科長・副学科長ならびに教育・学生・入試戦略の3つの部会をおき、組織マネジメントおよび教学マネジメントにあたる。
- ③ 公平性・透明性を確保するとともに教育・研究・学務・社会貢献のいずれにも配慮した教員人事を行う。

以上